

「よこて市商工会女性部」 高齢者に“春”お届け

彩り豊か ひな祭り弁当



よこて市商工会女性部(大庭喜美子部長)は3日、手作りの「ひな祭り弁当」を横手市内の高齢者約200人に届けた。1人暮らしの高齢者に楽しんでもらおうと2016年から続く取り組み。ちらしずしやおかずを詰め、掛け紙には平鹿中学校生徒が直筆メッセージを添えた。



①平鹿中生からのメッセージを添え、彩り豊かなちらしずしやおかず詰めたひな祭り弁当の盛り付け作業に励む部員

部員22人が午前9時過ぎに同市平鹿町の浅舞地区交流センターに集まり、手際よくおかずを盛り付けた。調理は商工会加盟の仕出店などが担当。ちらしずしのほか、甘辛く味付けしたサケと鶏肉の塩こうじ焼きをメインに、伝統野菜の「山内にんじん」を使った酢の物、部員お手製の漬物、卵焼きといった彩り豊かな

おかずを詰め込んだ。

届け先は80歳以上を対象とし、市社会福祉協議会の協力で希望者を募った。平鹿中生による掛け紙のメッセージには「お体を大切に」「毎日が明るくなりますように」などと書かれていた。

午前11時ごろから部員が高齢者宅を訪問し、弁当を手渡した。大庭部長(69)は「冬の間は外になかなか出られず寂しい思いをした人もいたと思う。安否確認の意味でも毎年続けている。お弁当で春らしい気分を味わってもらいたい」と話した。

(石川彩乃)

(令和8年3月4日(水) 秋田さきがけ新聞から一部抜粋)